

# 発達障害者の心理

単位数	履修方法	配当年次
2	R or SR	3年以上



科目コード	EG4733	担当教員	黄 淵熙
-------	--------	------	------

※2017年11月20日までに履修登録し、2019年3月までに単位修得してください。

※RorSR科目ですが、2017年度以降スクーリングは開講いたしません。

※2014年度までの入学者と、2015年度2・3年次編入学者・科目等履修生、2016年度4月生3年次編入学者のみが履修登録可能です。

※2010年度より「軽度発達障害者の心理」の科目名が「発達障害者の心理」に変更されました。

## ■科目の内容

この科目では、発達障害のある児童生徒の認知的特徴からくる心理的問題を理解し、それに対する対応について学習します。1単位めの課題においては、発達障害の定義および学習障害(LD)・注意欠陥/多動性障害(ADHD)・自閉スペクトラム症(ASD)の特徴に関して理解します。2単位めの課題においては、発達障害のある児童生徒が学校や社会で直面する心理上の問題に関して理解し、適切な対応法に関して学習していきます。

## ■到達目標

- 1) 発達障害の種類とその特徴について説明することができる。
- 2) 発達障害の行動特性の根底にある認知特性について説明できる。
- 3) 発達障害のある児童・生徒の心理的特徴について説明できる。
- 4) 発達障害のある児童・生徒に起こりうる2次障害について説明し、それを防ぐための方法について論じることができる。

## ■教科書

田中康雄監修『イラスト図解 発達障害の子どもの心と行動がわかる本』西東社、2014年  
(最近の教科書変更時期) 2016年4月

## ■在宅学習15のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	1章 発達障害とは	発達障害の概念を理解し、その種類について学ぶ。「発達障害スペクトラム」という考え方を理解する。 キーワード：発達障害、個性、発達障害スペクトラム	特別支援教育に関しては年々新しい知見が出て、それと関連する用語も変わっております。新しい用語を整理してみてください。

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
2	1章 発達障害の脳を理解しよう	発達障害の正確な原因は分かっていないですが、脳の機能を制御するネットワークに何らかの機能障害があると考えられている。発達障害と関連する脳の部位などについて知る。 キーワード：発達障害, 脳, 前頭前野	p.114のワーキングメモリの機能に関して脳機能と関連させて学習してください。
3	2章 子どもの気持ちと気になるサイン	発達障害の特徴から起因する子どもの独特の言動を理解し、その対応について考察する キーワード：子どもの気持ち, 気になるサイン	子どもの気になるサインを発達障害の特性と関連付けて考えてみましょう。
4	2章 発達障害の診断	発達障害の可能性の気づきから相談、診断に至るまでの方法や家庭について理解する。 キーワード：気づき, 相談機関, 診断	発達障害の可能性があると気づいた際に相談できる医療機関及び地域の相談機関などについて理解を深めましょう。
5	3章 自閉スペクトラム症とは	自閉スペクトラム症の児童・生徒の特性及びその背景にある心の理論や感覚過敏などについて理解する キーワード：自閉スペクトラム症, 対人関係, 心の理論	心の理論課題への困難が実際の対人場面でどのような問題として表れやすいのか想像しながら学習してみましょう。
6	3章 自閉スペクトラム症のある子どもへの対応	自閉スペクトラム症の特徴を理解した上に関わり方のポイントを理解する。 キーワード：自閉スペクトラム症, 関わり方	学校・家庭など場を想定し、自閉スペクトラム症のある児童・生徒の関わり方について学習してみましょう。
7	4章 ADHDとは	ADHDの概念及び特徴、診断基準について学ぶ。 キーワード：ADHD, 不注意, 多動性, 衝動性	ADHDと関連する脳機能としてワーキングメモリについて正しく理解しましょう。
8	4章 ADHDのある子どもへの対応	ADHDの特徴を理解した上に関わり方のポイントを理解する。 キーワード：ADHD, かかわり方	実際の子どもの行動（例えば、席に座ってられないなど）を例として、対応について考えてみましょう。
9	5章 LDの特徴と関わり方	「読み・書き」の困難をもたらす要因について理解したうえで、困難の原因と対応した指導方法及び内容について理解する。 キーワード：LD, 読み書き, 聞く, 話す	「聞く・話す」ことの困難の背景にある問題を理解し、問題別に異なった配慮が必要であることに気付くようにしましょう。
10	6章 療育とケア	TEACCH, 感覚統合療法, ABAなどの基本を理解し、それをの療育方法を用いた子どもの行動の記述方法及び応用法について知る。 キーワード：TEACCH, 感覚統合療法, 応用行動分析	実際の子どもの行動を例として、各療育方法にもとづいた対応について考えてみましょう。

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
11	7章 家庭での支援	発達障害のある児童・生徒を持つ家庭での子どものかかわり方について具体的に知る。また、地域の人々との付き合い方、進学・就労に関して理解する。 キーワード：家庭での支援、子育て、進学、就労	発達障害のある子どもが不安を和らげ、穏やかに過ごせるように家庭でのかかわり方について具体的な場面ごとに考えてみましょう。
12	参考図書2) 2章2 家庭でできる二次障害への支援	発達障害のある児童・生徒を持つ家庭での子育ての悪循環を理解し、ペアレント・トレーニングプログラム方法及び意義を理解する。 キーワード：子育て、悪循環、ペアレント・トレーニング	発達障害のある児童・生徒への支援の一つであるペアレント・トレーニングを理解し、褒めることを日常生活の中で練習してみてください。
13	参考図書2) 2章1 学校ができる二次障害への支援	2次障害の発生メカニズムを理解し、学校における2次障害への悪循環への対応策について学ぶ。 キーワード：2次障害、発達障害、学校生活	事例を読んで自分であればどう対応したかについて考えてみましょう。
14	8章 保育所・幼稚園、小学校での支援	幼稚園・保育所において子どもの特性を理解し、特性にあった支援の仕方について理解する。 キーワード：幼稚園、保育所、特性理解、成功体験	指示の仕方及びほめ方などを具体的に考えてみましょう。
15	8章 保育所・幼稚園、小学校での支援	教室の構造化、スケジュールの構造化など通常学級でできる工夫について理解する。 キーワード：小学校、構造化	日ごろ発達障害のある児童が学校場面で遭遇する困難について考えてみて、具体的な支援の工夫について考察してみましょう。

## ■レポート課題

1 単位め	発達障害児の特徴を障害種別（LD・ADHD・自閉スペクトラム症）に要約し、その特性上起こりうる心理的問題について述べなさい。
2 単位め	「A君は小学校3年生で、読み書きがとても苦手です。特に、漢字が苦手です。どうしても覚えられなく、国語の時間にみんなの前で本を読むと笑われたりしないかすごく気になります。また、不注意なところがあって、テストではケアレスミスが多く、プリントやノートなどをなくすこともしばしばあります。家でもよく叱られているし、先生からは「できるはずなのにしない」と思われています。」 <u>この事例に対して、心理的なサポートを含め、学校や家庭でどのような対応が必要であるのかを述べなさい。</u>

(注) 2単位めレポート用紙の課題記載欄は、下線部のみでよい。

## ■アドバイス

各課題について、テキストおよび参考文献などをよく読み、自分の言葉でまとめるようにしてください。参考図書3)の『軽度発達障害児を育てる——ママと心理臨床家の4000日』には発達障害児の事例が

多数掲載されているので、それらを読んで発達障害児の特徴を具体的に描いてください。

1単位め  
アドバイス

教科書の3, 4, 5章及び参考図書2)『発達障害が引き起こす二次障害のケアとサポート』の1章を熟読し、発達障害の概念や発達障害のある児童生徒のある児童生徒が抱える困難についてよく理解したうえでレポートを作成してください。

2単位め  
アドバイス

事例の心理的困難について自分の考えを述べ、教科書の7章, 8章を参考にして適切な対応について考察してください。

■科目修了試験 評価基準

---

内容の理解が一番のポイントであるが、疑似体験や事例、実際の体験などに基づいて具体的に記述されているのかも評価対象となる。

■参考図書

---

- 1) 主婦の友編 『発達障害の子どもの心がわかる本』主婦の友社, 2010年
- 2) 齋藤万比古著 『発達障害が引き起こす二次障害へのケアとサポート』学習研究社, 2009年
- 3) 五十嵐一枝著 『軽度発達障害児を育てる——ママと心理臨床家の4000日』北大路書房, 2010年

(注)

発達障害の定義・診断基準などはさまざまなものがありますが、「DSM」(ディーエスエム)と呼ばれるアメリカ精神医学会の「精神障害の診断と統計の手引き」が2013年5月に改訂され、DSM-5(ディーエスエム ファイヴ)として発表されました。

DSM-5の定義では、例えば「広汎性発達障害」が「自閉症スペクトラム(障害)」に呼び換えられるなどの変更がなされています。

現在では、「自閉スペクトラム症」または「自閉症スペクトラム障害」が一般的な用語となっています。